



スマートな生活に役立つ収納部品 「宅配ボックス」「物置ユニット」 閉じ込め事故には注意して！

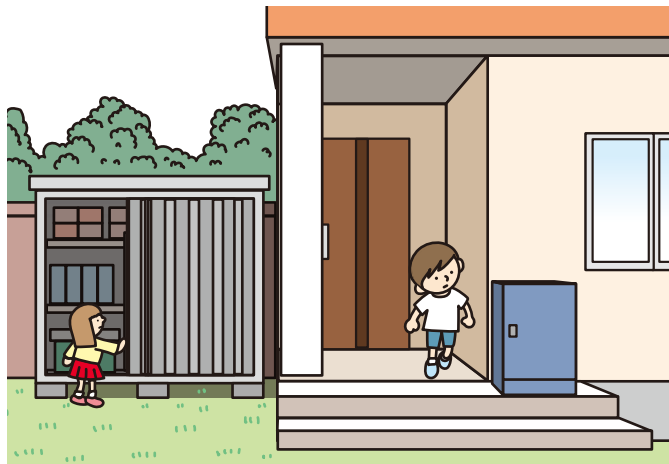
ごぞんじでしたか？
住宅部品 Vol.4

発行/一般財団法人ベターリビング
発行日/2024年4月5日

宅配ボックスは、不在時の宅配物の受け取りの手間を軽減することに加え、再配達を抑制することができるため、宅配事業者の労働力の軽減、再配達に係るCO₂の削減にも寄与する社会的な課題に対応した優れた設備と言えます。最近では、戸建て住宅に宅配ボックスを設置することも多く見かけるようになってきました。

また、物置ユニットは家財を収納する部品として、以前から広く普及していますが、近年では震災に備え、防災用品を備蓄するなど、その役割が広がっています。

これらはスマートな生活に役立つ住宅部品と言えるのですが、いっぽうで、収納物を安全に守るという基本的性能が求められるために、閉じ込め事故につながるケースがあり注意が必要です。



「宅配ボックス」「物置ユニット」閉じ込め事故について

1 宅配ボックスの閉じ込め事故

東京消防庁の発信する「日常生活における事故情報」では、子供がかくれんぼをしていて宅配ボックス内に隠れたあとに閉じ込められて出られなくなった、といった事故事例がいくつか紹介されています。幸いこれらの事故では、いずれも大事にはいたりませんでした。しかし、気温が高い夏に長時間閉じ込められた場合、熱中症等の重大事故に発展する危険性があったと述べられています。

事故概要

平成28年6月 7歳男児 軽症

7歳男児が、友人とかくれんぼをしており、9時40分頃に友人宅マンションエントランス部分に設置された宅配ボックス内に隠れた。その後、何らかの原因で宅配ボックスの鍵がかかり、出られなくなったもの。

平成24年9月 8歳男児 不搬送

子供4人がマンション玄関付近でかくれんぼをしていて、1階に設置してある宅配ボックスに入りかかっていた。その後、他の子供が外からダイヤルを動かしたため、鍵がかかり閉じ込められてしまったもの。

平成25年7月 3歳男児 不搬送

3歳男児が宅配ボックスから出られなくなったもの。

平成24年4月 5歳男児 軽症

5歳男児が兄と自宅マンション内の宅配ボックスで遊んでおり、扉を閉めた際、自動的にカギが掛かってしまい出られなくなったため、通行人が119番通報したもの。

※東京消防庁HP 日常生活における事故情報 「宅配ボックスに子供が閉じ込められる事故に注意」より抜粋

2 「物置ユニット」の閉じ込め事故

平成19年2月に、物置ユニットの中に人が入って扉を閉めた際、仮ロックが掛かった状態になり、内側からの解除方法がわからにくく、閉じ込められた事故が複数件起きたことが報道されています。

宅配ボックス

一般財団法人ベターリビングの優良住宅部品認定基準を満たす、宅配ボックスは以下のような性能を有しています。

- アンカー等により基礎等へ緊結できる
- 扉・錠は十分な機械的な強度や耐久性を有している
- 屋外に設置するものは、外からの著しい侵水がない
- 屋外に設置するものは、耐候性を有している
- 電気式の宅配ボックスは、電気的な安全性を有している

加えて

子どもが入ることが可能な大きさ※の製品については、閉じ込め事故防止を目的として、次の性能を求めています。

- 通気性を有している
- 内部から扉が開けられる構造である

宅配ボックスとは

住宅や事務所等に設置され、宅配便等の受け渡しを無人で行うことができる設備。最近では、戸建て住宅に設置することができる宅配ボックスのバリエーションが増えています。



通気、内部から開けられる仕組みの事例

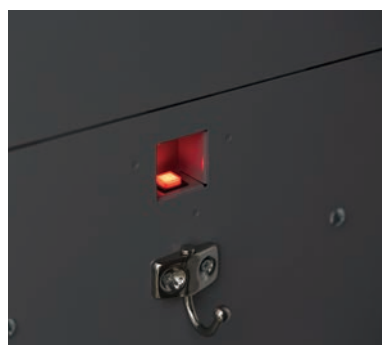


閉じ込め防止ボタン

子供が入る可能性がある大きさ（ミドルタイプ、ラージタイプ）の製品は、万一閉じ込められた場合でも、内部のレバーを動かすと施錠が解除され、内部から開けられます。



庫内の最低容量が50リットル以上の保管箱の場合、保管箱内にあるレバーを動かし、庫内から解錠することができます。



人がボックスの中に入り込むなどの万一の事態に備え、大型サイズのボックスには暗い中でも見つけやすいランプ付き緊急脱出用ボタンを標準装備しており、そのボタンを押せば、ボックスの内側からでも扉を開くことができます。

※子供の身体寸法と保管庫の大きさの関係

- 容量が50リットル以上ある場合で、保管箱の内寸のすべて（幅、高さ、奥行）が150ミリ以上のものは、誤って閉じ込められる場合を考慮しておく必要があります。



容量50リットル以上
内寸のすべてが150ミリ以上

物置ユニット

一般財団法人ベターリビングの優良住宅部品認定基準を満たす、物置ユニットは以下のような性能を有しています。

- 転倒防止等のためのアンカー工事や基礎工事が行われている
- 十分な強度と耐久性を有している
- 壁や戸、屋根は飛来物の衝撃で使用上支障のある貫通や亀裂が生じない
- 戸の開閉繰り返しで開閉に支障が生じない
- 雨漏りが発生しないよう対策がとられている
- 設置地域に適した製品が選べるよう積雪量や風圧力に対応した性能がある

加えて

閉じ込め防止を目的として、次の性能を求めています。

- 引戸、開き戸及び手動式シャッターは、内側からラッチボルトやデッドボルト等が解除でき開けられる

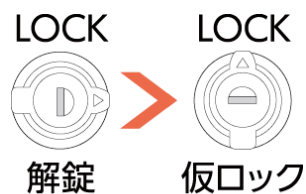
物置ユニットとは

屋外に設置され、一般家庭の物品その他の物品を収納する設備。災害に備えて設置される、防災倉庫として使われることもあります。



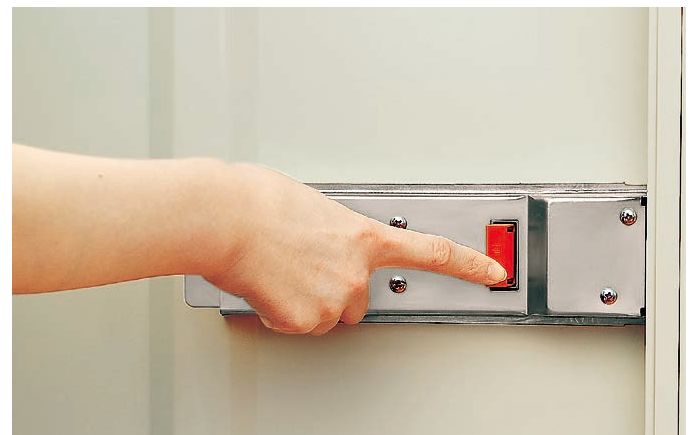
閉じ込め対策の事例

標準開き仕様(左開き)



内側から施錠できません。
半開き防止の仮ロック機能が備わっています。安全のための仮ロックは中からも解除可能です。仮ロックの操作方法はツマミの▲印をLOCKに合わせます。

中から仮施錠を解除できるエマージェンシーノブ



人が入っているのに仮施錠された場合、中から仮施錠を解除することができます。